

第142号

# まちのくすりやさん

今回のおはなし

「口内炎」続いたら受診を

「お知らせ」



## 「口内炎」続いたら受診を

タレントの堀ちえみさんが公表した舌がん。堀さんは、自身のブログで、最初は小さな口内炎とと思っていましたが、実は口腔がんの一種である「舌がん」だったと明かしました。口内炎と思ったものが1ヶ月以上治らない場合は、がんの可能性もあり、専門医を受診する必要があります。

舌がんの発症率は、10万人に～3人で、希少がんと言えますが、口腔がんの中では、患者が最も多いです。

★口内炎と舌がんの違い★

口内炎	舌がん
痛みが出る	初めころは、痛みがないこともある（ステージ1、2）
1～2週間以内に治る	1か月以上たっても症状が続き悪化する 月単位で少しずつ悪くなる。
触っても硬くない	触れるとしこりのような硬いものがある

### 舌がんのできやすい部位



下からみた  
舌の粘膜



上からみた  
舌の粘膜

舌の表面が赤く、または白くなったり、舌にいぼ状のできものや表面が盛り上がったります。いずれも、がんが表面にとどまり、組織の奥まで広がっていないことが多いです。

一番怖いのは、潰瘍のようによくこんでいくタイプ。表面上はわかりにくく、診断がつきにくいので、目を閉じ、痛い所や気になるところを自分の指で触ってみて、何か硬いしこりのようなものに触れた時は要注意です。

がんが4mmほどの深さに浸潤すると転移しやすいです。気になった場合は、耳鼻咽喉科や歯科医師の領域である口腔外科の専門医を受診して下さい。

がんの多くは組織の粘膜が何らかの原因で刺激され、慢性炎症を起こすことから発症します。舌がんの場合、リスク要因は、喫煙、飲酒、口腔内の不衛生のほか、欠けてとがった歯や歯並びが悪くて内側に倒れた歯が舌を刺激することなどがあります。

一方、手術でがんや、がんが転移したリンパ節をしっかりと取り除き、放射線や抗がん剤で再発を予防すれば、複数のリンパ節に転移するなどした進行がんでも完治も期待できます。舌は、半分程度なら切除しても、別の部位の皮膚や皮下脂肪などを使った再建術によって、会話や食事など日常生活で大きな支障が出ることは少ないです。

## 浦安市薬剤師会からのお知らせ

Uセンター（浦安市老人福祉センター）で、「まちのくすりやさんによるお薬教室」を開催することになりました。

**\*時間は、午後1時30分～3時**

5月 9日（木）薬の正しい使い方（簡単実験含む）

7月11日（木）高血圧のお話

9月12日（木）コレステロールのお話

11月14日（木）不眠症のお話

2020年2月9日（木）サプリメントのお話

★申込方法等は、Uセンターにご確認下さい。



### （一社）浦安市薬剤師会

〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812（月～金：10～15時）

Fax 047-355-6810

メールアドレス [toiawase@urayaku.jp](mailto:toiawase@urayaku.jp)

ホームページ <http://www.urayaku.jp/>